

山本 美緒

メキシコ生活の実に三分の一が終了したことに驚きを隠せない。若干今更感はあるのだが、今月は自分の知っている範囲で、CEPE の話をしようと思う。

日墨生はメキシコ到着 1 週間後にこの CEPE という語学学校に全員の有無を言わずに收容される。CEPE は UNAM (メキシコ国立自治大学 Universidad Nacional Autónoma de México) 付属の語学学校で正式名称を Centro de Enseñanza Para Extranjeros という。UNAM は名が知れているので、CEPE もそれなりにかと思いきや、道を尋ねる際「CEPE に行きたいんだけど」がメキシコの人には通じないことの方が多く、大変困ったため、CEPE まで行きたいときは UNAM の学部の Filosofía y Letras または Derecho に行きたい、と言った方がいい。立地はメトロ Copilco またはメトロバス Doctor Galvez から徒歩 15 分ほど。メトロ M.A.Quevedo からバスを使ってくる人もいる (徒歩だと 20 分)。CEPE の近くを通るバスは種類が多いため、家の近くから乗ってくるバスユーザーも多く、また徒歩圏に住んでいる人も多い。

CEPE のレベル分けは 9 段階で、Nivel0~8 までが存在する。DELE (スペイン語の検定試験) のレベルを使ってざっと説明すると、0~3 までが A1、A2 (初級) 4~7 までが B1 (中級)、B2 (中上級)、8 が C1 (上級) だそう。最初にクラス分けテストがあり、作文・オーラル・文法の 3 つのテストを考慮して、振り分けられているようだが、実際は文法テストの結果が大いに関連してくるらしい。



CEPE 裏の売店。割と大きいお札も使わせてもらえる。水筒持参で 1 割引き。



CEPE 内唯一のポケストップは中庭に。  
張ってある水はたまに消滅している。

日墨研修生はレベル 6 までは CEPE にいる義務があり、ここでの成績が 7 割を切ると奨学金が 1 か月停止される。成績と言うのは、必須科目である "Español" のクラスのものだけであり、他にも文化の科目を履修することもできるのだが、そちらの成績は奨学金とは関係ない。文化の科目にはダンスや歴史、芸術の授業があり、それぞれの興味に合わせて履修することができる。また、文化以外にも文法を補完するクラス、たと

えば「作文と会話」などがあるが、そちらの成績も奨学金の条件には含まれない。

Español のクラスは、nivel5 以下は週 15 時間（毎日 3 時間）、nivel5 からは週 13 時間（週 2 時間の日が 2 日ある）になり、nivel8 は金曜日の授業がないらしい。毎日 3 時間と聞くとキツイと思われるかもしれないが、3 時間の日は中休憩が 15 分～30 分ほどあるので、その時間は中庭で過ごしたり、CEPE 近くの売店にコーヒーを買いに行ったりと、皆思い思いに息抜きを楽しんでいる。Español のクラスの満足度は担任の先生によるところが大きい。

CEPE の設備の話をする、CAD というコンピュータールームがあり、自由に使用することができる。レポートを印刷するときなど大いに助かっているが、印刷をする際は印刷用紙を持参する必要があり、CEPE では紙は買えない。また、開くのが授業の始まる 9 時直前のことが多いため、それから印刷すると少し遅刻する。別の場所に Fotocopias もあるので、原稿がある場合はそちらに頼むこともできるが、支払いをするために 1 階と 3 階を行ったり来たりする必要がある。費用はそれほど高くない。また、図書館もあり、一人最大同時に 2 冊借りることができる。DELE 用の教材も少なくないため、自主学習に有効。もちろん全部スペイン語である。雑誌も置いてあるので、スペイン語の雑誌を楽しむこともできる。

CEPE の素敵な所は、各シーズンで装飾が変わることだ。まずは 9 月の独立記念のための飾りつけのパベルピカド、死者の日にはオフレンダ(祭壇)、クリスマス前にはピニャータ。講堂でそれらについて説明をしてくれる日もあり、きちんとアナウンスもされるので、都合が合えば参加することができる。

また、CEPE の教科書代には SIELE の受験料も含まれているため、期末テストの期間中に SIELE の Lectura と Auditiva の試験を CEPE で受けることができる。SIELE はスペイン語版 TOEIC と言える全世界で通用するもので、試験結果は 5 年間有効である。どのレベルからも受験することができ、試験結果は各 300 点ずつ計 600 点でスコアが出る。各タームが終わるごとに、実力試しをすることが可能だ。

CEPE は規模が大きいことが一つの利点である。生徒数が多いため、さまざまな意見を聞くことができる。また、外国語学習に興味のある現地の人もちらほら見受けられるため、ネイティブとの交友関係を築くことも可能だ。日墨生となった暁には、CEPE ライフをぜひ楽しんでほしい。来年度日墨の埼玉県の募集は開始している。〆切 1 月 6 日を忘れずに。

Instagram/@mio.ymmt.mex



中庭にぶら下げられた巨大ピニャータ。  
中には果物が。